

# 難病連40周年記念大会

昭和48年9月30日に発足した難病連の40周年大会を開催しました。

平成25年10月20日(日)  
難病連40周年記念大会 in 岐阜産業会館  
大展示室  
40年を振り返り、明日への力としていきましょう  
互いに交流を深め、分かり合うことの大切さを確かめましょう

< プ ロ グ ラ ム >


10:30~	受付		
11:00~12:30	式典	1. 開会の辞 3. 理事長挨拶 5. 感謝状贈呈 7. 大会宣言	2. 物故者への黙とう 4. 来賓のあいさつ 6. 役員紹介 8. 閉会の辞
12:30~14:30	前半	食事(やきそば・すいとん等 模擬店オープン)	
	後半	交流(患者会ブースオープン)	
		・自助具展示 ・抹茶 一服差し上げます ・ビーズアクセサリーを作ろう ・手作り小物の店 ・「カナイ」を奏でよう ・肩もみマッサージ ・フットセラピー等	
14:30~15:30	物産店・お宝バザー		

【常設コーナー】

- 作品展・・・会員さんの力作(絵画・写真など)を展示します
- 写真で振り返る、あの日あの頃

時代の風 先達のことだま 熱を込めた活動の数々 温かいご支援 励まし  
分かってほしい 分かり合いたいと 紡いできた思い 思い 思い  
今こそ振り返り 明日への力としたい!

掘り出し物  
ありませぬ!!



## < 大 会 宣 言 >

40年目にして総合的な難病対策の見直しが行われている真只中に、岐阜県難病団体連絡協議会も設立40周年を迎えています。

最近の治療研究の目覚ましい進展に、多くの患者家族が勇気づけられ、希望の光を見えます。また「障害者総合支援法」が制定され、難病も障害の一つとして福祉施策の対象とされることになり、国際障害者年のあの頃に匹敵する、難病患者にとって重要な節目となっています。

私たち難病連では、障害手帳を持つ人も持てない人も、特定疾患患者もそれ以外の人も同じ難病患者の仲間として助け合って活動してきました。障害別の支援も重要ですが、障

害の基でもある疾病・難病への理解を深めて、支援の対策を講じてほしいという私たちの永年の願いが、ようやく国レベルのものになってきたということが出来ます。

しかし具体的な難病支援策ははじまったばかりでいくつも問題点があるほか、これから具体的措置を決めるという事柄も少なくありません。私たちは難病患者の実情に即した支援が受けられるように声をあげていく必要がありますが、多くの人々の難病理解がまだいかに不足しているかも実感せざるを得ません。

今こそ行政・関係者、障害団体の皆さんをはじめ広く難病を理解していただくように働きかけ、障害の違い、疾病の違い、立場の違いを克服し、互いに理解しあうことに努めてきた難病連の伝統を再認識して、難病患者運動の第二のステージに皆で歩みだすことを、ここに決意します。

平成25年10月20日

NPO法人岐阜県難病団体連絡協議会設立40周年記念大会 大会参加者一同

## <当日の様子を少しご紹介します>



式典の様子・・・  
雨の中、大勢の会員さんたちが足を運んでくださいました



大会宣言をする伊藤理事



難病連40年の歩みを掲示物に  
しました

※訪れてくださった皆さんの笑顔いっぱいのお写真がたくさんあるのですが、プライバシーの関係上、ほんの一部しか載せられませんでした。